

# 桐朋

## アカデミー・オーケストラ

### 第45回 定期演奏会

〈バイエルン放送交響楽団のメンバーを迎えて〉



# 9.28 (金)

オーバード・ホール 開演19:00

指揮／クリストフ・ヴィネケン  
(元ベルリン放送交響楽団コンサートマスター)

ヴァイオリン独奏／アントン・バラコフスキー  
(バイエルン放送交響楽団首席コンサートマスター)

スメタナ: 歌劇「売られた花嫁」序曲

チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35

ドヴォルザーク: 交響曲 第9番 ホ短調 「新世界より」作品95

入場料2,000円(全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)



Conductor  
Christoph Wyneken



Violin  
Anton Barachovsky



Violin  
Joanna Kamenarska



Viola  
Hermann Menninghaus



Cello  
Peter Wöpke



Oboe  
Ramón Ortega Quero



Trumpet  
Hannes Läubin

※演奏曲目・出演者等は変更になる場合もあります。演奏会等に関する最新情報は、本学ホームページ (<http://www.tohomusic.ac.jp>) をご覧ください。  
※オーバード・ホールは、JR富山駅北口そばです。

※有料の演奏会ですが、桐朋オーケストラ・アカデミー友の会会員・学生・生徒・児童の皆様は、無料でご入場いただけます。

チケット販売所 桐朋学園音楽部門富山キャンパス事務室、北日本新聞文化センター、アスネットカウンター(オーバード・ホール1F)、ミヤコ楽器店  
主催/桐朋オーケストラ・アカデミー、桐朋学園大学音楽学部、桐朋学園大学院大学、(公財)富山市民文化事業団、富山市、富山市教育委員会、(株)北日本新聞社 後援/富山県、(社)富山県芸術文化協会  
(お問い合わせ) 〒930-0138 富山市呉羽町1884-17 桐朋学園音楽部門富山キャンパス事務部演奏課 Tel.076-434-6800

桐朋オーケストラ・アカデミー「友の会」会員募集中

# 桐朋 アカデミー・オーケストラ

## 第45回 定期演奏会

〈バイエルン放送交響楽団のメンバーを迎えて〉



指揮

クリストフ・ヴィネケン

*Christoph Wyneken*

ベルリン音楽大学、デトモルト音楽大学、オースチン大学音楽学部(アメリカテキサス州)卒業。これらの音楽大学でアンドア・トース(ガラミアン派)、ジョージ・ナイクルグ(ドウニス派)に師事したことが重要で、このことがヴィネケンの方向を決定した。その後、ベルリン放送交響楽団のコンサートマスターを務めた後、ベルリン・フィルに呼ばれ、さらにはハノーファー北ドイツ放送管弦楽団の第一コンサートマスターを務める。管弦楽団の一員としての活動と並行して、数多くのラジオ放送のための録音、ソロ・リサイタルを行うと同時に、ベルリン・ストリング・トリオ、ヴァルトシュタイン・ピアノ・トリオ、オルフェオ・カンマー・ゾリステンとともに国内外で演奏会を開く。第一コンサートマスターおよび、ソリストとして20年近く活動した後、若手音楽家の育成に重点を移し、指揮が活動の中心となっていく。そして、全ヨーロッパ、北米、南米、アフリカ、日本、韓国、中国、タイ、CIS諸国に呼ばれて、指揮活動を行う。これまでのハノーファー北ドイツ放送管弦楽団、シュトゥットガルト管弦楽団、カトヴィツェ・シレジア管弦楽団での指揮、またタベア・ツィンマーマン、クラウディオ・ボホークス、アーロン・ローザンドなど世界をリードする音楽家たちとの仕事は、数多くのレコーディングに残されている。この他にもヴィネケンは、アビトゥーア(大学入学資格)前の才能ある若き逸材の育成と支援にも尽力している。この背景には、数多くのCDや放送用レコーディングで素晴らしい成果を挙げているバーデン＝ヴュルテンベルグ州ユース・オーケストラがある。ヴィネケンは30年あまり前にこのオーケストラが設立された当初から芸術監督を務めている。2003年には、若手養成活動に熱心に取り組むバーデン＝ヴュルテンベルグ州ユース・オーケストラを30年以上にわたって指導してきた功績が認められ、当時のヨハネス・ラウ大統領よりドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小綬章が授与された。ヴィネケンは、ドイツ、ポーランド、アメリカ、アルゼンチンの音楽大学にも協力関係を広げ、1991年からはフライブルグ音楽大学室内楽専攻でも非常勤講師として教え、同時に武蔵野音楽大学にも客員教授として招かれた。



ヴァイオリン

ヨアンナ・カメナルスカ

*Joanna Kamenarska*

ブルガリア・ソフィア生まれ。ハンブルク・ゼクステット等のメンバー。2008年よりハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務めている。



ヴィオラ首席

ヘルマン・メニングハウス

*Hermann Menninghaus*

1963年ブンデ生まれ。元々はヴァイオリン奏者でベルリン・フィルのメンバーだった。1997年バイエルン放送交響楽団入団。



チェロ

ペーター・ヴェプケ

*Peter Wöpke*

1948年ベルリン生まれ。Trio tango á troisメンバー等のメンバー。現在、バイエルン国立管弦楽団第1ソロ・チェリスト。



ヴァイオリン独奏

アントン・バラコフスキー

*Anton Barachovsky*

ヴァイオリン教師のマトヴェイ・リバーマンはバラコフスキーの特別な音楽的才能を認め、ミハイル・グリンカ音楽専門学校での勉学を支えた。19歳以降はドイツに在住し、マーク・ルボツキーやコーリャ・ブラッハーと共にハンブルクの音楽学校で学んだ。1997年にニューヨークで「ヤング・コンサート・アーティスト賞」を獲得した後、ジュリアード音楽院で学ぶ奨学金を受け、ドロシー・ディレイとイツァーク・パールマンの教え子として学んだ。この時までには、既に大きな賞をいくつか勝ち取っている。「コンチェルティノ・ブラガ」ラジオ・コンクールでの受賞が12歳。13歳の時には北京で行われた国際コンクールで入賞している。1990年には、モスクワで行われたチャイコフスキー・コンクールで第4位、1994年にはハノーファーで行われたヨーゼフ・ヨアヒム・コンクールで第2位に入賞した。サンクトペテルブルグ・フィルハーモニーおよびロシア・ナショナル管弦楽団(ミハイル・プレトニョフ指揮)、北ドイツ放送交響楽団(アルノルト・エストマン指揮)、ハンブルク州立フィルハーモニー管弦楽団(ウォルフガング・サヴァリッシュ指揮)など、多数の一流オーケストラで演奏している。ニューヨークのコフマン・コンサートホール、カーネギーホール(Weill Hall)、リンカーン・センターのアリス・トゥーリー・ホール等でリサイタルを行った。1999年には、セルゲイ・プロコフィエフの「2つのヴァイオリンのためのソナタ」をCD録音のためにヴァイオリン奏者ワディム・レービンのデュエット・パートナーとして演奏、ERATOレーベルでリリースされた。2001年から2009年までは、ハンブルク州立フィルハーモニー管弦楽団の首席コンサートマスターを務めた。2009年10月から、バイエルン放送交響楽団の首席コンサートマスターを務めている。



オーボエ首席

ラモン・オルテガ・クエロ

*Rámon Ortega Quero*

1988年スペイン・グラナダ生まれ。2007年ミュンヘン国際コンクールで優勝。2010年バイエルン放送交響楽団入団。



トランペット首席

ハネス・ロイビン

*Hannes Läubin*

1958年生まれ。9歳でトランペットを始める。18歳でNDR交響楽団に入団。1995年バイエルン放送交響楽団入団。ミュンヘン音楽大学教授。